



硬質地盤クリア工法



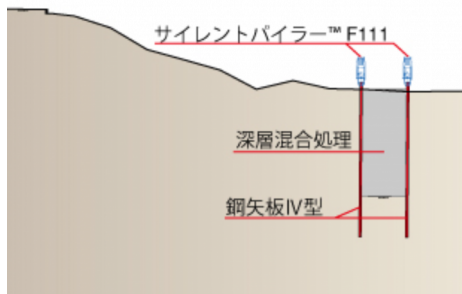
U形鋼矢板圧入工法



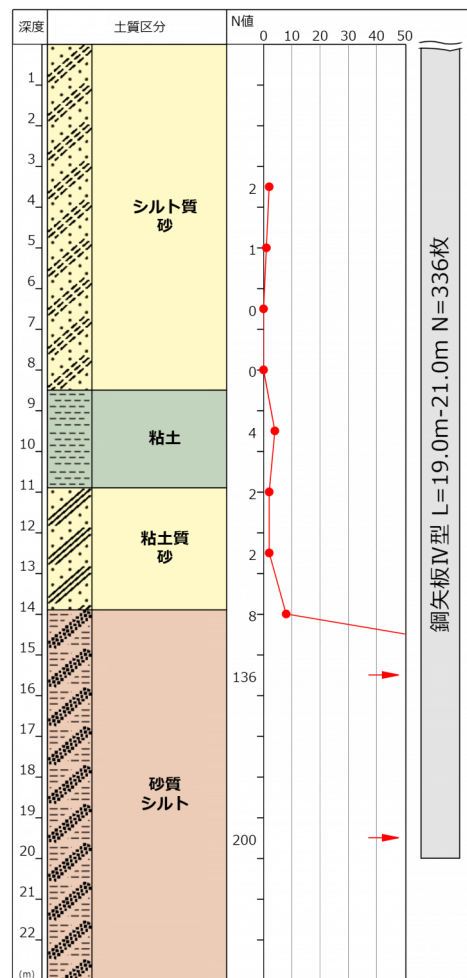
施工中



全体風景



断面図



※50を超える場合は換算N値とする。

工 事 名	Clementi N2C3 (地すべり災害復旧工事)
工 事 目 的	斜面対策工
施 工 場 所	クレメンティ, シンガポール
発 注 者	Housing & Development Board (HDB)
元 請 業 者	CHIU TENG CONSTRUCTION CO. PTE. LTD.
施 工 業 者	JIAN MAN CONSTRUCTION PTE LTD
施 工 期 間	2022年9月 ~ 2022年11月
施 工 機 械	サイレントパイラー™ F111 (硬質仕様) x 2台, PPTシステム™
型 式 ・ 寸 法	鋼矢板 型 L=19.0m-21.0m N=336枚
特 長 ・ 効 果	地すべり災害の復旧工事において、再度災害を防ぐため鋼矢板を硬質地盤(砂質シルト層)まで貫入させる必要があり、「PPTシステム(PPTS™ 地盤情報推定)」を施工管理として活用。 PPTシステムの使用により、実際の地盤状態の確認と鋼矢板を硬質地盤(砂質シルト層)に貫入させたことを証明。結果として、鋼矢板長を伸ばす必要はなくなり、費用と工期の削減につながった。